

## ワルナスビ (悪茄実)

名前の意味：刺<sup>い</sup>だらけ<sup>み</sup>の雑草<sup>とげ</sup>のナスという意味。

分類：双子葉類、ナス科、イヌホオズキ属

(ナス科の栽培<sup>さいばい</sup>植物<sup>しょくぶつ</sup>：ナス、トマト、ジャガイモ、トウガラシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：本州、四国、九州

原産地：北米

特徴：刺<sup>とげ</sup>だらけ<sup>くき</sup>の茎、ナスのような花。

種子の運ばれかた：鳥に食べられて運ばれ、種子は消化<sup>しょうか</sup>されずにフン<sup>ま</sup>に混じって落ちる。

花弁の数：5裂。合弁<sup>ごうべん</sup> (花びらがつながったまま落ちる)

花の時期：7—10月

食べ方：食べるとおなかをこわす。

見分け方：ナスやジャガイモ、イヌホオズキの茎<sup>くき</sup>には、刺<sup>とげ</sup>がない。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)